

令和 8 年 8 月 17 日

理学療法士養成校・作業療法士養成校
シーティング関連科目ご担当者様

一般社団法人日本義肢装具学会
理事長 花山 耕三
シーティング普及推進委員会
担当理事 星野 元訓
委員長 木之瀬 隆

「シーティング教育に関するアンケートへのご協力のお願い」

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび、一般社団法人日本義肢装具学会シーティング普及推進委員会ではシーティング教育に関する実態や課題を明らかにすることを目的として、リハビリテーション関連 3 職種の養成校におけるシーティング教育に関するアンケートを実施しております。本調査は、一般社団法人日本義肢装具学会倫理委員会の承認（承認番号：26-01）を受けて実施しております。

つきましては、貴校のシーティングに関する教育状況に関して、アンケート調査にご協力を賜りたく存じます。ご協力いただける場合は、同封した「アンケート調査協力についての説明書」の内容をご確認のうえ、オンライン上からご回答ください。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

【調査概要】

- ・調査名：「理学療法士・作業療法士・義肢装具士養成校におけるシーティング教育の実態調査」
- ・対象者：理学療法士、作業療法士、義肢装具士のいずれかの養成校
- ・所要時間：約 15 分
- ・回答方法：下記 URL、QR コードの Google フォームにてください
URL: <https://forms.gle/e5x8F6b2RLxQeAGw6>
- ・回答期限：令和 8 年 9 月 30 日（水）



【個人情報の取り扱いについて】

ご回答いただいた内容は統計的に処理し、回答される教員、および学校が特定されることは一切ございません。なお、調査成果は学会発表や論文等で公表される予定ですが、個人や学校情報が公開されることはありません。

【お問い合わせ先】

研究責任者：木之瀬隆（日本義肢装具学会シーティング普及推進委員会委員長）

E メール：kinose.seating@gmail.com

※E メールを送信後、3 日経過しても返答がない場合は、お手数ですがご再送ください。

敬具

アンケート調査協力についての説明書

アンケート調査題名「理学療法士・作業療法士・義肢装具士養成校におけるシーティング教育の実態調査」

実施者：一般社団法人日本義肢装具学会シーティング普及推進委員会

1. 目的と背景

シーティングの重要性は広く認識されている一方で、臨床における実施内容には対応者の個人差が大きく、また理学療法士、作業療法士、義肢装具士の養成校における教育内容の標準化が十分に進んでいないのが現状です。

本調査では、各養成校におけるシーティングに関する現行カリキュラムの実態を把握し、今後の標準化に向けた課題を明らかにすることを目的としております。

本調査は、シーティング教育の現状を把握するための実態調査であり、教育制度や指定規則の変更を直接目的とするものではありません。

※このアンケート調査における「シーティング」とは

座位姿勢を保持・支援するための評価、用具の適合（選定、製作、調整、アフターフォロー）などの技術的実践、日常生活上の座位に関する生活指導、環境整備を指します。対象用具は車椅子が主であるため、車椅子の車種や構造の理解にはじまり、車椅子・姿勢保持装置上でのシーティングに加え、疾患別・障害別の座位姿勢の特徴、および、それらへの対処としての臨床的な座位保持技術までも対象としています。

2. 研究協力者として選定された理由

本調査は日本国内における理学療法士、作業療法士、義肢装具士の全養成校を対象とし、シーティング関連科目授業を担当、もしくは統括される教員の方にご回答を依頼するものです。

3. 自由意思による参加と撤回の自由

本調査に参加するか否かは自由であり、参加しない場合であっても不利益はありません。このアンケート調査への参加については Google フォームへの回答を以て承諾とさせていただきます。ご承諾頂いた後でも、いつでも参加承諾を撤回し、回答を中止することができます。また、回答終了後に使用しないことを希望される場合は、データを破棄いたしますのでお知らせ下さい。

4. ご協力いただく内容

貴校で実施されているシーティング関連科目授業について、Google フォーム上での全 16 項目に及ぶ

アンケートに回答いただきます。所要時間は約 15 分です。

回答方法：下記 URL、QR コードの Google フォームにてください

URL: <https://forms.gle/e5x8F6b2RLxQeAGw6>

回答期限：令和 8 年 9 月 30 日（水）



5. 予想される協力者の利益と不利益

本調査への参加による直接的な利益・不利益はありません。しかし、本調査の実施意義は、養成校におけるシーティング教育の現状を定量的把握が可能とするものであり、シーティング教育の現状の課題と標準化に向けた方向性を明確化しうるものと考えております。これらにより、今後の教育分野におけるシーティングの教育プログラムの整備、教員研修、学会認定制度（当学会推奨教育カリキュラムの策定）との連動を検討する基盤資料となりうるものが 3 専門職の教育における利益と考えます。

6. 謝礼について

なし

7. 個人情報の管理方法

アンケート調査の回答において教員、および学校名を取得しないため、個人と学校が特定されることは一切ございません。そのため、公表時に個人や学校情報が公開されることはありません。

8. データの二次利用について

この調査で得られた結果について、類似の調査で複合検討が必要な際に利用させていただく場合があります。

9. 研究の資金源、起こりうる利害の衝突など

このアンケート調査は本学会運営費によって実施します。その他の問題となり得る利害の衝突はありません。

研究期間は本会倫理審査承認日（2026 年 7 月 17 日）から 2028 年日本義肢装具学会学術大会開催日まで行う予定です。

10. 研究の承認と期間

本調査は、日本義肢装具学会倫理委員会の承認を得て実施しております（承認番号：26-01）。

Google フォームにご回答いただくことで、本調査への参加に同意をいただいたこととさせていただきます。

ます。

1 1. 研究の公表方法

この調査で得られた内容は、日本義肢装具学会誌と日本義肢装具学会学術大会、および医療・福祉の教育専門家が集まる学術集会や学術的な専門誌で発表することを予定しています。また、日本理学療法教育学会・日本作業療法士協会・日本義肢装具教育者連絡協議会と結果を共有する場合があります。

調査終了後は適正実施を確認するために、日本義肢装具学会事務局にて 5 年間保存した後に廃棄します。

1 2. 本研究に関する問合せ

研究責任者：木之瀬隆（日本義肢装具学会シーティング普及推進委員会委員長）

E メール：kinose.seating@gmail.com

※E メールを送信後、3 日経過しても返答がない場合は、お手数ですがご再送ください